

3年間(2007-2009)の地質の調査研修を振り返って(5) 研修の様子2:川沿い本流でのルートマップづくり(第2~第3日目)

おびつがわ いのかわ くらたきざわ
 <清澄背斜北翼の小櫃川支流猪の川(黒滝沢)本流沿い[東大千葉演習林内]>



a. 黒滝不整合発祥の地の黒滝。不整合直上の含礫スコリア質粗粒砂岩が滝の表面を覆い、全体が黒っぽくなっている。清澄背斜北翼。2009年10月。



b. 黒滝の上で、不整合直上の基底礫を探しながら、不整合の位置を探索中。この日は雨だったので、合羽を着ながらの作業となった。清澄背斜北翼。2009年10月。



c. 平滑な河床を歩きながらルートマップづくりの作業中。砂岩泥岩互層による層理面の縞々模様が立体的に見える(安房層群安野層)。清澄背斜北翼。2007年10月。



d. 雨の日の凝灰岩鍵層の探索。安野層中の凝灰岩鍵層サンドイッチタフを掘り出している。柳沢幸夫氏撮影。清澄背斜北翼。2009年10月。



e. 河床面にスランプ堆積物が見える(安房層群安野層)。このスランプもよく連続する。清澄背斜北翼。2008年10月。



f. トンネルの入り口付近に見られる南北性の高角断層。安野層下部の泥岩優勢互層(手前)と清澄層上部の砂岩優勢互層(奥側)が接する比較的大きな断層であり、ルートマップに記載する。清澄背斜北翼。2008年10月。